

第2次総合計画施策評価シート《令和2年度分》									
施策コード		基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち					
3 — 5		施策目標	5	青少年の健全育成					
SDGs 連携分野		目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する							
		目標5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う							
		目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する							
		目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する							
									
目指すべきまちの姿		未来を担う子どもたちの健やかな成長を見守る体制が整っています。							
●主要施策と概要【PLAN】				この1年間の成果及び反省点【DO】			担当課		評価【CHECK】
(1) 青少年健全育成体制の充実 ・ 県・団体・青少年問題協議会と連携し、街頭指導や有害環境の浄化等の活動を推進し、健全な社会環境づくりを推進します。 ・ 青年の学び直しや働きながらの学習機会の情報を発信し、若者の学びの促進と支援をします。				・ 街頭指導を夏休みと冬休みの2回行いました。青少年健全育成大会では、中学校3校合同による広島研修報告を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 ・ 青年向けの学習機会について情報提供はできませんでした。青年に届きやすい学習機会の情報発信の仕方などについて検討する必要があります。			生涯学習課		B
(2) キャリア教育の促進・充実 ・ 中学校2年生を対象に市内の事業所において3日間の職場体験学習を実施し、地域の人々との交流を通して健全な勤労観・職業観を育てます。				コロナ禍のため各事業所に赴いての職場体験活動は実施せず、職業講話を各中学校で開催した。職場体験とは違う視点で職業について考えを深めることができました。			学校教育課		B
(3) 青少年の体験・交流活動等の促進 ・ 郷土学習や地域行事への参加、ボランティア活動等体験・交流活動や社会活動等の機会の充実を図ります。 ・ 市民ワークショップ等への参加・活動を促進し、地域の担い手となるよう地域と協働で育成・指導を図ります。 ・ 成人式の実行委員会を募り、自主的・創造的な式典とイベントを開催します。				・ 地域の歴史・文化を学ぶための生涯学習講座として、「弥富文島講座」や「高校生議会」を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、他の大部分の生涯学習講座と同様に中止となりました。 ・ 成人式の実行委員会を募り自主的な式典とイベントを開催しました。今後も事業を継続し人材の育成を図ります。			生涯学習課		B
(4) 家庭・地域の教育力の向上 ・ 家庭・地域の連携を図り、教室・講座を開催します。また、広報・啓発活動を推進します。 ・ 放課後の子どもの居場所づくりを地域・学校等関係機関と連携・協働して推進します。				・ 親子参加型体験学習事業として9講座開催を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1講座5名のみ参加となりました。講座の再開に際しては、対象者に講座開催情報が届くように適切なタイミングで広報をしていく必要があります。 ・ 放課後の子どもの居場所づくりについては、近隣自治体の情報交換を行いつつ、地域・学校関係機関との連携・協働について方向性を見出していく必要があります。			生涯学習課		C
●施策目標に対する市民満足度				単位	現状値 (2017年度)	目指す方向性	中間値 (2022年度)		
青少年の健全育成				%	14.7	↗			
●成果指標			単位	現状値 (2017年度)	各年度の実績値			目標値 (目指す方向性)	
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 2028年度
(2) 職場体験受入れ事業所数			事業所	101	133	0			110 120
(3) 交流社会活動を実施する青少年を含む団体数			団体	5	5	5			7 9
(4) 親子参加型の体験学習講座等参加人数			人	480	322	90			600 600
事業No	実施計画に係る事業名			担当部署	今後の進め方【ACTION】				
(2)	職場体験学習事業			学校教育課	対象外			対象外	
(3)	郷土学習や体験・交流活動等の活動支援			生涯学習課	今後も新型コロナウイルス感染状況を注視しながら感染予防対策をして青少年に対して郷土学習や体験学習講座を開催していく必要があります。			現状維持	
(4)	親子参加型体験学習事業			生涯学習課	今後も新型コロナウイルス感染状況を注視しながら感染予防対策をして親子参加型体験学習講座事業を開催していく必要があります。			現状維持	
施策の今後の方針【ACTION】		青少年を取り巻く環境の変化に柔軟に対応するため、青少年問題協議会や学校などの関係機関と連携し、青少年の非行防止及び犯罪被害防止に努めるとともに、新型コロナウイルス時代に対応して事業のあり方を検討しながら、様々な交流事業や体験活動事業を引き続き実施していきます。							

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2)	職場体験学習事業	学校教育課	学校教育グループ	令和3年7月5日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	5	青少年の健全育成	
	主要施策	2	キャリア教育の促進・充実	
	主要事業		職場体験学習事業	
SDGs 連携分野	目標 4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	4 質の高い教育を みんなに 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	市内3中学校の2年生全生徒を対象に、地元企業の協力を得て、各事業所における仕事を体験します。職場体験を通して、各生徒に望ましい職業観を養うことを目的とします。					主な協働・関連団体等	
事業概要	愛知県教育委員会委嘱事業「魅力ある愛知キャリア教育プロジェクト」の一環として、各校に対し、生徒数に応じた事業費を交付します。生徒は、職業観を養うために社会人としてのマナーについて講話を聞き、各事業所で職場体験を行ったうえで、活動後に各自の活動を振り返って内容をポートフォリオにまとめます。					関連する個別計画・根拠法令等	
事業の開始・終了	開始年度	2006	年度	終了年度	2028	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」	100	キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」	100	キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」	100	キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」	100		
	(補助額)	100	(補助額)	100	(補助額)	100	(補助額)	100		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
合 計	100	合 計	100	合 計	100	合 計	100			
(補助額)	100	(補助額)	100	(補助額)	100	(補助額)	100			
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)
				(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度
(2) 職場体験受入れ事業所数			事業所	101	133	0			110	120
指標の分析	コロナ禍のため各事業所に赴いての職場体験活動は実施しなかったため職場体験受入行書への受入依頼をしなかったことにより成果指標は、0件でした。コロナ禍でなくなれば、各事業所に赴いての職場体験活動を行う予定でありました。									
■事業の評価【CHECK】										
項目	評価視点					評価の結果				
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか					評価対象外				
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性					評価対象外				
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか					評価対象外				
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果					評価対象外				
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見							方向性			
対象外							対象外			

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(3)	郷土学習や体験・交流活動等の活動支援	生涯学習課	生涯学習グループ	令和3年6月20日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	5	青少年の健全育成	
	主要施策	3	青少年の体験・交流活動等の促進	
	主要事業		郷土学習や体験・交流活動等の活動支援	
SDGs 連携分野	目標 4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
4 質の高い教育を みんなに  10 人や国の不平等 をなくそう  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 				

■事業内容【PLAN】

事業目的	青少年が、様々な体験活動や交流機会を通じて豊かな人間性を育み、地域の担い手として健全に育成されるような取り組みを進めます。						主な協働・ 関連団体等	文化協会
								文化財保存会
事業概要	郷土や地域について学ぶ講座を開催するなど、青少年に体験活動や発表の機会を与えられるような事業を開催します。						関連する 個別計画・ 根拠法令等	
事業の開始・ 終了	開始年度	2006	年度	終了年度	2028	年度		

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	生涯学習講座 講師謝礼	0	生涯学習講座 講師謝礼	16	生涯学習講座 講師謝礼	16	生涯学習講座 講師謝礼	16
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合 計	0	合 計	16	合 計	16	合 計	16	
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

[illegible]

指標の分析	コロナ禍で活動が出来ず、団体の増加はありませんでした。
-------	-----------------------------

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	新型コロナウイルス感染症の影響により、企画していた高校生議会等の郷土や地域について学ぶ学習は中止となった中でも、佐古木文化財保存会においては多世代間交流をして活動するなど青少年を含む団体は活動を継続しており、事業を継続する必要性があります。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	講座の中止により講師謝礼の支払いがなくなりました。また、青少年を含む団体に対する支援は、利用料の減免のみであり、費用対効果の高い事業です。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	青少年に対し体験学習講座など学習の機会を設けることは、公共性の高い事業であるため、市が実施する必要があります。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	郷土や地域について学ぶ講座を開催するなど、青少年に体験活動や発表の機会を与えられるような事業は、総合計画の施策目標である「青少年の健全育成」を実現するために必要な事業であり、教育基本法第3条にある教育の機会均等に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
今後も新型コロナウイルス感染状況を注視しながら感染予防対策をして青少年に対して郷土学習や体験学習講座を開催していく必要があります。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(4)	親子参加型体験学習事業	生涯学習課	生涯学習グループ	令和3年6月20日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	5	青少年の健全育成	
	主要施策	4	家庭・地域の教育力の向上	
	主要事業		親子参加型体験学習事業	
SDGs 連携分野	目標 4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う			
	4 質の高い教育を みんなに  5 ジェンダー平等を 実現しよう 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	青少年が様々な体験活動や交流機会を通じて豊かな人間性を育み、地域の担い手として健全に育成されるような取り組みを推進します。						主な協働・ 関連団体等	
事業概要	親子参加型体験学習講座を企画し、開催します。						関連する 個別計画・ 根拠法令等	
事業の開始・ 終了	開始年度	2006	年度	終了年度	2028	年度		

■事業費(単位:千円)【DO】									
事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	
	生涯学習講座 講師謝礼	32	生涯学習講座 講師謝礼	16	生涯学習講座 講師謝礼	16	生涯学習講座 講師謝礼	16	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
合 計	32	合 計	16	合 計	16	合 計	16		
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0		
成果指標			単位	現状値 (2017年度)	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 2028年度
(4) 親子参加型の体験学習講座等参加人数			人	480	322	90			600 600
指標の分析	学習講座参加者数の減少については、新型コロナウイルス感染症の影響により、講座開催の中止や貸館の中止・利用制限があったことが理由です。								
■事業の評価【CHECK】									
項目	評価視点				評価の結果				
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				新型コロナウイルス感染症の影響により、親子参加型体験学習講座等の参加人数は大幅に減少しましたが、アンケート結果で、講座等の継続を望む声が多いため必要があります。				
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				前年を踏襲するのではなく、講座の申し込み状況やアンケート結果に応じて講座の見直しを行い、不人気講座については継続や内容の見直しを行っている。令和2年度については、新規講座を開設に伴い、講師謝礼が増加しました。				
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか				親子が共に学習を通してふりあう場を設けることは、公共性の高い事業であるため、市が実施する必要があります。				
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				親子参加型体験学習講座事業は、体験学習を通じて親子のコミュニケーションを密にし、総合計画の施策目標である「青少年の健全育成」の実現につながります。				
■今後の進め方【ACTION】									
課長意見							方向性		
今後も新型コロナウイルス感染状況を注視しながら感染予防対策をして親子参加型体験学習講座事業を開催していく必要があります。							現状維持		